

令和4年度離島漁業再生支援交付金漁業集落実績報告

1 対象漁業集落の概要

市町村名：羽幌町

島名：天売島・焼尻島

協定対象漁業集落名：天売焼尻漁業集落

協定参加世帯数：63世帯、104人（うち漁業世帯 63世帯 104人）

2 協定締結の経緯

羽幌町の天売島及び焼尻島は、離島という生産や販売に不利な条件にあり、漁業者は急速な高齢化も相まって減少傾向にあるため、魚場の活用が充分に行われず、基幹産業である漁業の衰退が顕著な状況となっている。

このため、離島漁業再生支援交付金を活用し、魚場の生産力の向上や集落の創意工夫を生かした取り組みを促進させ、離島漁業の再生を図ることとした。

また、離島漁業の再生によって、離島の持つ良好な海域環境の保全や国境監視といった多面的機能の維持増進も期待される。

3 取組の内容

①魚場の生産力の向上に関する取組状況

（種苗放流）

ウニ漁業は漁業者の高齢化によりウニ資源への依存度が高いことから、エゾバフンウニ人工種苗7万粒（天売地区7万粒）の放流を実施し、資源の増大を図ることとした。



ナマコ人工種苗 1 万粒（天売）を放流し、新たな資源の添加を図ることとした。



飼料環境の悪い場所にある未利用のキタムラサキウニ 6, 849 kg（天売 2, 289 kg、焼尻 4, 560 kg）を採捕し、飼料環境の良好な魚場に移植放流することで、利用可能なウニ資源として資源の増大を図ることとした。



中間育成ウニ餌用の昆布を育成し、資源確保を図ることとした。



(魚場の管理・改善)

種苗放流の魚場において、ヒトデ類等の害的生物を駆除することにより種苗放流効果の向上を図ることとした。



天売地区において、健苗ウニの年齢調査を実施し、資源管理を図ることとした。

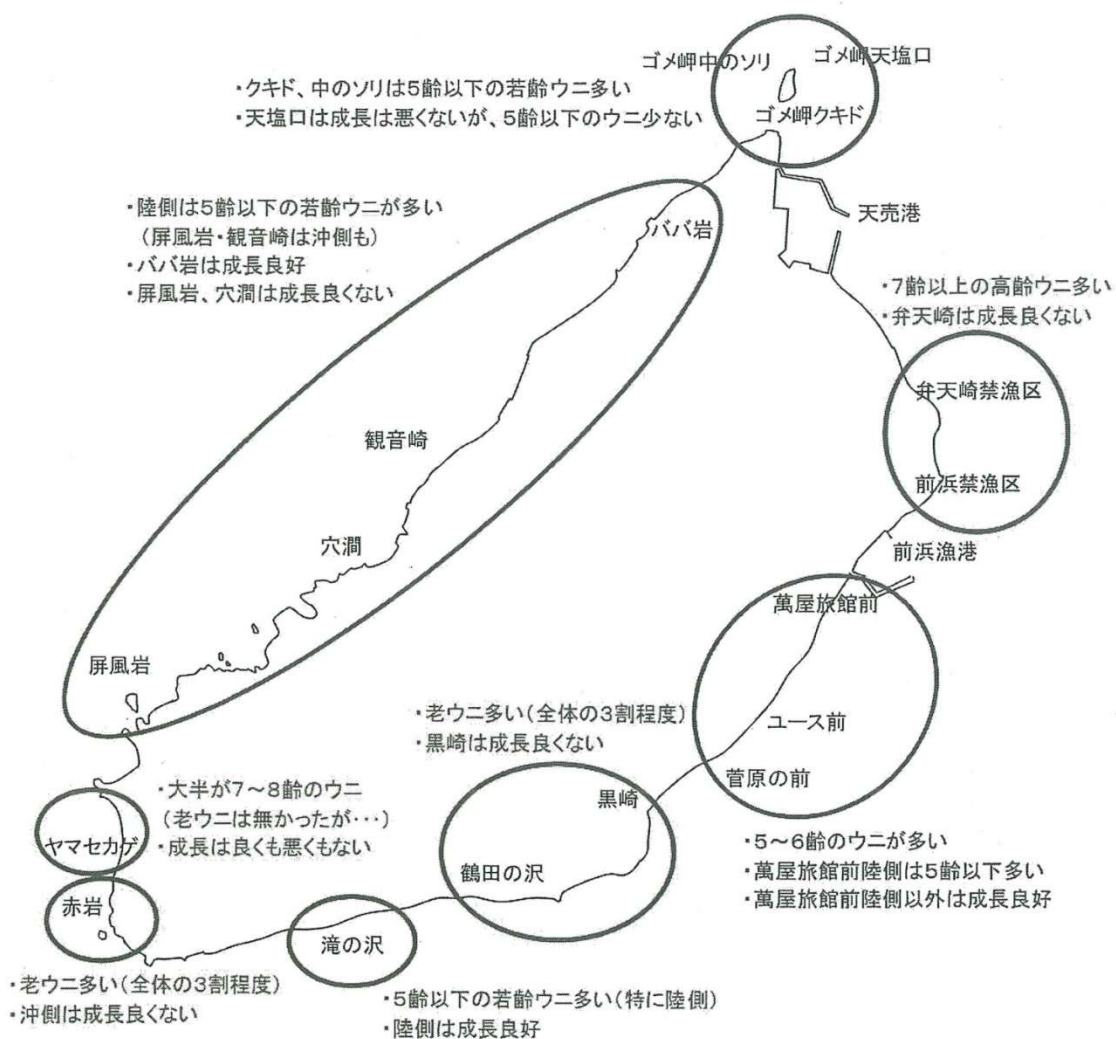
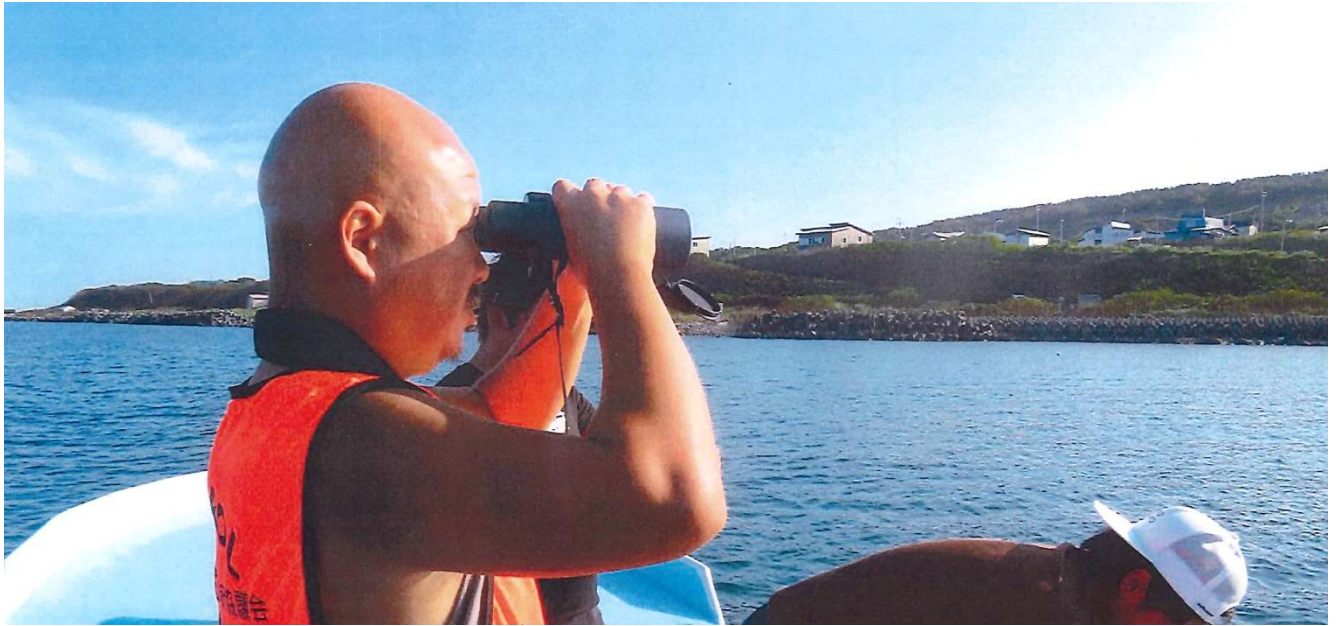


図4 天売島におけるキタムラサキウニの年齢及び成長の漁場(地域)別特徴

(魚場監視)

観光シーズン（7～9月）の密漁による資源の減耗を防止するため、監視員を配置し、資源の維持を図ることとした。



②漁業の再生に関する実践的な取組状況

(流通体制改善)

海水冷却器を導入し、陸上施設での鮮度保持を図ることで流通体制の改善を図ることとした。



(販路拡大)

鮮魚運搬用保冷シートや鮮度保持簗を導入し、出荷時の鮮度保持等に取り組み、漁獲物の付加価値向上を図ることとした。



4 取組の成果

交付金交付対象者漁業者所得平均 2, 295 千円

漁業集落就業者数 104 名

①魚場の生産力の向上に関する取組状況

(種苗放流)

エゾバフンウニ人工種苗の放流やキタムラサキウニの移植放流を実施したことにより新たな資源の添加が期待される。また、ナマコ人工種苗の放流により今後の漁獲が期待される。

(魚場の管理・改善)

放流魚場のヒトデなど害敵を駆除するなど適切な魚場管理に努めたことから生産の向上を見込むことができた。

また、ウニの年齢調査により生育環境の把握と今後放流予定の場所などの基礎的データを収集することができた。

(魚場監視)

魚場監視により密漁が防止されることにより、ウニ・ナマコ資源の維持を図ることができた。

②漁業の再生に関する実践的な取り組み状況

(流通体制改善)

海水冷却器の導入により、陸上での鮮度保持が容易となり、消費者への安定供給に寄与した。

(販路拡大)

鮮魚保持筐・鮮魚運搬用保冷シートの導入により、輸送時における鮮度維持を図ることで、鮮度低下が原因の魚価下落を防ぐことができた。